

平成29年度
蓮田白岡衛生組合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

蓮田白岡衛生組合監査委員

平成 29 年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算審査意見書

第 1 審査の対象

平成 29 年度 蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算

第 2 審査の期日

平成 30 年 9 月 5 日（水）

第 3 審査の方法

平成 29 年度の蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書に基づき、計数の正確性を確認するとともに、予算の執行状況が適切かつ効率的に行われていたかを審査した。

また、会計管理者、事務局長及び各課長から平成 29 年度における事務の成果並びに評価、課題について報告を求めるほか、不正・違法行為の防止対策、内部統制の徹底についてそれぞれの立場としての方策、見解についても併せて報告を求めた。

第 4 審査の結果

平成 29 年度の一般会計歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書はいずれも関係法規に準拠して作成されており、各計数は適正なものとして認められた。

第5 決算の概要

1 総括

平成29年度一般会計決算額の歳入歳出予算現額は1,559,441,000円である。

歳入決算額は、1,563,621,137円（予算現額に対する割合100.3%）歳出決算額は、1,533,060,445円（予算現額に対する割合98.3%）で、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額は30,560,692円となり、翌年度への繰越財源はないので、実質収支額は形式収支額と同額である。

2 財政規模の推移

（単位：千円）

区 分		平成29年度	平成28年度	比較増減	
				決算額	率
予算現額		1,559,441	1,656,253	△96,812	△5.8%
歳入決算額		1,563,621	1,663,693	△100,072	△6.0%
歳出決算額		1,533,061	1,621,174	△88,113	△5.4%
差引残額		30,560	42,519	△11,959	△28.1%
翌年度 へ繰り 越すべ き財源	(1) 継続費通次繰越額	0	0	-	-
	(2) 繰越明許費繰越額	0	0	-	-
	(3) 事故繰越し繰越額	0	0	-	-
実質収支額		30,560	42,519	△11,959	△28.1%

歳入決算額を前年度と比較すると、100,072千円（6.0%）の減額、歳出決算額は、88,113千円（5.4%）の減額である。

この減額の主な内容は、歳入においては、ごみ処理施設延命化事業が最終年度を迎えて、大規模な工事が減少し両市からの分担金が67,588千円の減額となったこと、歳出においても同様に、ごみ処理施設延命化事業に係る工事費が59,670千円の減額となったほか、公債費において、平成29年度の借入元金の償還開始及び平成13年度の借入れ償還完了により、12,961千円の減額となった。

また、施設整備基金への積み増しが行われていなかったため39,996千円の減額となった。

全体としては、厳しい財政状況下において、健全な財政運営が図られたものと認められる。

第6 歳入の状況

歳入の決算状況は、予算現額 1,559,441,000 円に対し、調定額は、1,563,621,137 円で収入済額も同額である。

前年度に対し増額となった科目は、3 款の財産収入で 80,849,730 円（前年度対比 13,277,033 円、19.6%増）である。

一方、前年度に対して減額となった科目は、1 款の分担金及び負担金が、1,089,216,320 円（前年度対比 66,670,580 円、5.8%減）、2 款の使用料及び手数料が、348,095,649 円（前年度対比 1,727,193 円、0.5%減）、5 款の繰越金で 42,518,952 円（前年度対比 20,907,333 円、33.0%減）、6 款の諸収入が 2,940,486 円（前年度対比 5,244,003 円、64.1%減）、7 款の組合債は、借入れを行わなかったことにより 18,800,000 円の皆減である。

款別の主な増減の理由は、以下のとおりである。

1 款 分担金及び負担金

（単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構成比
平成 29 年度	1,089,233	1,089,216	1,089,216	100.0%	100.0%	69.6%
平成 28 年度	1,155,582	1,155,887	1,155,887	100.0%	100.0%	69.4%
比較増減	△66,349	△66,671	△66,671	100.5%	100.0%	0.2%

歳入決算総額に対する構成比率は 69.6%であり、前年度と比較して 66,671 千円(5.8%)の減額である。

このうち、分担金は 1,009,166 千円で前年度対比 67,588 千円(6.3%)の減額であり、ごみ処理施設延命化事業の主要な工事が前年度に完了したため、工事請負費が減額となった。

負担金は 80,050 千円で前年度対比 917 千円(1.2%)の増額であり、世帯数の増加である。

2 款 使用料及び手数料

（単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構成比
平成 29 年度	347,167	348,096	348,096	100.3%	100.0%	22.3%
平成 28 年度	348,104	349,823	349,823	100.5%	100.0%	21.1%
比較増減	△937	△1,727	△1,727	184.3%	100.0%	1.2%

歳入決算総額に対する構成比率は 22.3%であり、前年度と比較して 1,727 千円(0.5%)の減額である。

このうち、ごみ手数料は 330,728 千円で前年度対比 1,377 千円(0.4%)の減額となった。主な内容は、指定袋の販売枚数が増えたことによりごみ処理手数料(有料指定袋)が 215,013 千円で前年度対比 1,135 千円(0.5%)の増額となったが、直接搬入されるごみの減少により、搬入ごみ手数料が 106,889 千円で前年度対比 2,452 千円(2.2%)の減額となった。

また、し尿手数料は 17,292 千円で前年度対比 361 千円（2.0%）の減額となったが、これは、し尿汲取世帯数が減少したことによるものである。

3 款 財産収入

（単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 29 年度	77,682	80,850	80,850	104.1%	100.0%	5.2%
平成 28 年度	66,810	67,573	67,573	101.1%	100.0%	4.1%
比 較 増 減	10,872	13,277	13,277	122.1%	100.0%	1.1%

歳入決算総額に対する構成比率は 5.2%であり、前年度と比較して 13,277 千円（19.6%）の増額である。

このうち、物品売払収入は 80,802 千円で前年度対比 13,272 千円（19.7%）の増額となっている。主な内容は、鉄・アルミ売却が、27,895 千円で売却単価の上昇により前年度対比 7,789 千円（38.7%）の増額、古紙類売却についても 39,274 千円で前年度対比 3,593 千円（10.1%）の増額となった。

4 款 繰 入 金

（単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 29 年度	0	0	0	-	-	0%
平成 28 年度	0	0	0	-	-	0%
比 較 増 減	0	0	0	-	-	0%

繰入金は前年度と同様 0 円である。

5 款 繰 越 金

（単位：千円）

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 29 年度	42,518	42,519	42,519	100.0%	100.0%	2.7%
平成 28 年度	63,426	63,426	63,426	100.0%	100.0%	3.8%
比 較 増 減	△20,908	△20,907	△20,907	100.0%	100.0%	△1.1%

歳入決算総額に対する構成比率は 2.7%であり、前年度と比較して 20,907 千円（33.0%）の減額である。

6 款 諸 収 入

(単位:千円)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 29 年度	2,841	2,940	2,940	103.5%	100.0%	0.2%
平成 28 年度	3,531	8,184	8,184	231.8%	100.0%	0.5%
比 較 増 減	△690	△5,244	△5,244	760.0%	100.0%	△0.3%

歳入決算総額に対する構成比率は 0.2%であり、前年度と比較して 5,244 千円(64.1%)の減額である。主な内容は、平成 28 年度は、ごみ処理施設内で発生した火災に対する共済金 4,028 千円の収入があったが、平成 29 年度は施設での事故等の発生が無く経常的な収入にとどまったものである。

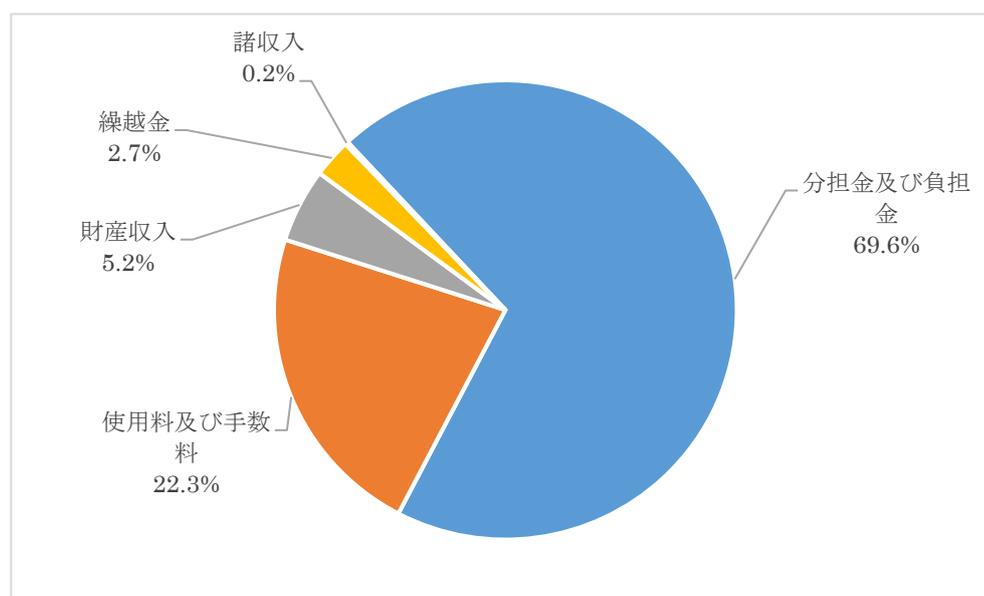
7 款 組 合 債

(単位:千円)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	収入総額 構 成 比
平成 29 年度	0	0	0	-	-	0%
平成 28 年度	18,800	18,800	18,800	100.0%	100.0%	1.1%
比 較 増 減	△18,800	△18,800	△18,800	100.0%	100.0%	△1.1%

組合債は、平成 25 年度から実施したごみ処理施設延命化事業が完了したことにより、借入を行っていなかったために、皆減となった。

款別歳入決算構成図



第7 歳出の状況

予算現額 1,559,441,000 円に対し、支出済額は 1,533,060,445 円で 26,380,555 円が不用額となっている。

なお、歳出の性質別決算状況は次のとおりとなっている。

(単位：千円)

区 分		平成 29 年度		平成 28 年度		比較増減	
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	率
経常的 経 費	人件費	290,467	18.9%	288,049	17.8%	2,418	0.8%
	物件費	986,232	64.3%	975,198	60.2%	11,034	1.1%
	維持補修費	16,542	1.1%	13,582	0.8%	2,960	21.8%
	扶助費	2,445	0.2%	2,580	0.2%	△135	△5.2%
	補助費等	3,599	0.2%	3,465	0.2%	134	3.9%
	計	1,299,285	84.7%	1,282,874	79.1%	16,411	1.3%
投資的 経 費	普通建設 事業費	121,128	7.9%	172,695	10.6%	△51,567	△29.9%
	計	121,128	7.9%	172,695	10.6%	△51,567	△29.9%
その他 の経費	公債費	112,601	7.4%	125,562	7.7%	△12,961	△10.3%
	積立金	47	0.0%	40,043	2.5%	△39,996	△99.9%
	計	112,648	7.4%	165,605	10.2%	△52,957	△32.0%
合 計		1,533,061	100.0%	1,621,174	100.0%	△88,113	△5.4%

歳出決算額は、1,533,061 千円（前年度対比 88,113 千円、5.4%減）である。

経常的経費の決算額は、1,299,285 千円（前年度対比 16,411 千円、1.3%増）で歳出総額の 84.7%となっている。これは、し尿処理施設の脱臭用活性炭等交換業務委託など物件費が 11,034 千円の増額となったことや給与改定等による人件費で 2,418 千円の増額となったことによるものである。

投資的経費の決算額は、121,128 千円（前年度対比 51,567 千円、29.9%減）で歳出総額の 7.9%となっている。これは、平成 25 年度から実施していたごみ処理施設延命化事業の主要な箇所の工事が前年度に完了したため、延命化の対象事業が前年度よりも 59,670 千円減少となったことにより、普通建設事業費が減額となった。

その他の経費の決算額は、112,648 千円（前年度対比 52,957 千円、32.0%減）で歳出総額の 7.4%となっている。これは、し尿処理施設に係る組合債の償還終了による公債費の減額及び施設整備基金への積立金が利子分のみとなったために減額となったものである。

1 款 議 会 費

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	不用額	支出総額構成比
平成 29 年度	1,349	1,316	97.6%	33	0.1%
平成 28 年度	1,431	1,285	89.8%	146	0.1%
比較増減	△82	31	7.8%	△113	0.0%

予算現額 1,349 千円に対して決算額は 1,316 千円であり、歳出総額に対する構成比率は、0.1%で前年度と比較して 31 千円 (2.4%) の増額である。増額の主な内容は、研修視察に係るバス借上料及び有料道路使用料が 236 千円であり、前年度対比 50 千円の増額となった。

2 款 総 務 費

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	不用額	支出総額構成比
平成 29 年度	331,815	330,420	99.6%	1,395	21.6%
平成 28 年度	369,009	365,706	99.1%	3,303	22.6%
比較増減	△37,194	△35,286	0.5%	△1,908	△1.0%

予算現額 331,815 千円に対して決算額は 330,420 千円であり、歳出総額に対する構成比率は、21.6%で前年度と比較して 35,286 千円 (9.6%) の減額である。

減額の主な内容は、総務管理費が 330,339 千円で施設整備基金への積み増しが利息分のみの積み立てであったことから前年度対比 35,285 千円 (9.6%) の減額である。

3 款 衛 生 費

(単位：千円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	不用額	支出総額構成比
平成 29 年度	1,108,509	1,088,724	98.2%	19,785	71.0%
平成 28 年度	1,155,085	1,128,621	97.7%	26,464	69.6%
比較増減	△46,576	△39,897	0.5%	△6,679	1.4%

予算現額 1,108,509 千円に対して決算額は 1,088,724 千円であり、歳出総額に対する構成比率は、71.0%で前年度と比較して 39,897 千円 (3.5%) の減額である。減額の主な内容は、じん芥処理費の工事請負費で、焼却炉補修工事が 39,960 千円で前年度対比 70,146 千円 (63.7%) の減額となっているほか、清掃総務費において、光熱水費、委託料及び機器補修工事で 319,126 千円の支出で、前年度対比 19,910 千円の増額となった。

また、不用額の 19,785 千円は、清掃総務費で 9,902 千円、じん芥処理費で 7,750 千円、し尿処理費で 2,121 千円である。清掃総務費の主な要因は、光熱水費の 9,463 千円であり、これは、電気料における単価変動を考慮しての執行残である。

じん芥処理費及びし尿処理費の主な要因は、委託料及び工事請負費に係るもので、委託料では、廃棄物の処分業務委託で発生量の減少により、工事請負費は、機械修繕で緊急工事が発生しなかったためである。

4款 公債費

(単位：千円)

区分	予算現額	支出済額	執行率	不用額	支出総額構成比
平成29年度	112,768	112,601	99.9%	167	7.3%
平成28年度	125,728	125,562	99.9%	166	7.7%
比較増減	△12,960	△12,961	0.0%	1	△0.4%

予算現額 112,768 千円に対して決算額は 112,601 千円であり、歳出総額に対する構成比率は、7.3%で前年度と比較して 12,961 千円（10.3%）の減額である。

主な内容は、平成 26 年度及び平成 28 年度に借入を行ったごみ焼却施設延命化事業の元金償還開始により 14,969 千円の増額となったが、平成 13 年度に借入を行ったし尿処理施設整備事業の償還金 304,600 千円が終了したことにより 27,521 千円の減額である。

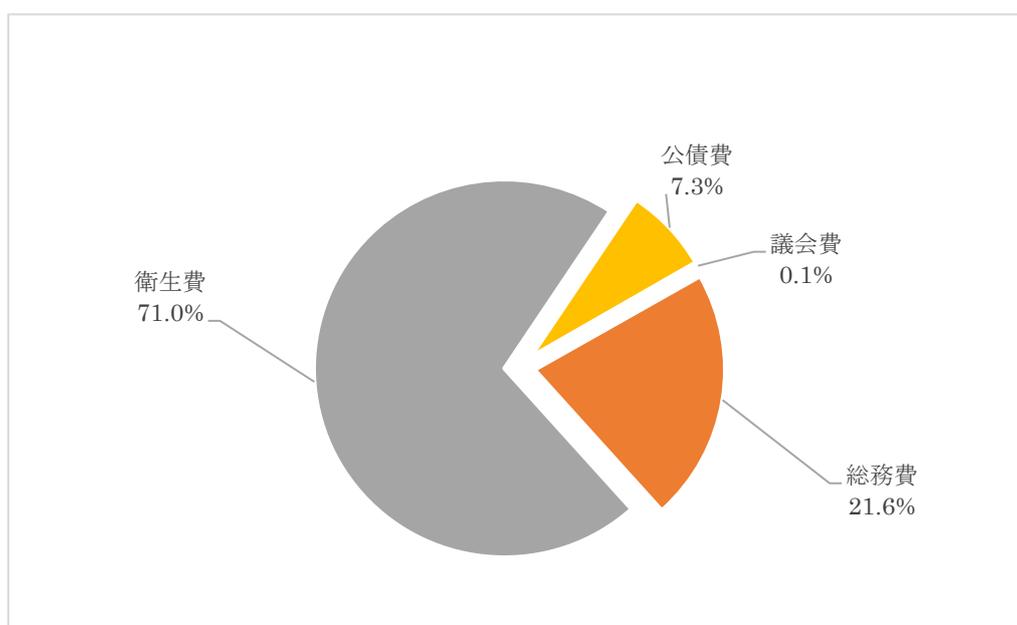
5款 予備費

(単位：千円)

区分	予算現額	支出済額	執行率	不用額
平成29年度	5,000	0	0.0%	5,000
平成28年度	5,000	0	0.0%	5,000
比較増減	0	0	0.0%	0

予備費は前年度と同様に執行はなかった。

款別歳出決算構成図



第8 財産に関する調書 (決算書 22 頁から 25 頁記載のとおり)

1 公有財産

(1) 土地及び建物

(単位：地籍㎡)

区分	28年度末 現在高	29年度中増減高	29年度末 現在高
土地	28,422.86	△1,538.77	26,884.09

土地は 26,884.09平方メートルで、前年度末現在高に比べ 1,538.77平方メートル (5.4%) 減少している。これは主として、組合が所有していた宅地及び公衆用道路用地のうち既に道路認定されている用地について、埼玉県及び白岡市へ無償譲渡したことによるものである。

なお、譲渡手続きは埼玉県及び白岡市が行ったものである。

2 物品

水質分析器具

決算年度末における減は、経年劣化により直示天秤を処分したことによるものである。

3 基金

(1) 施設整備基金

(単位：円)

区分	28年度末 現在高	29年度中増減高		29年度末 現在高
現金	160,172,271	47,399		160,219,670
		積立額	取崩額	
		47,399	0	

以上のとおり、公有財産、物品及び基金については、管理及び運営等につき、それぞれの目的に基づいて適正に管理されているものと認められた。

第9 むすび

決算の審査については、1 頁に記載したとおりである。

なお、審査の結果を踏まえ、次のとおり提言要望し、一般会計決算審査のむすびとする。

第1 提言要望事項

1 群馬県吾妻郡草津町にある新草津ウェイストパーク最終処分場への現地視察について、2名の職員の出張命令を行い、現地視察を行っていたが、1名の職員のみでの復命書の提出となっていた。

「蓮田白岡衛生組合職員服務規程」では、職員は、出張用務を終え帰庁したときは、軽易なものを除き速やかに復命書を任命権者に提出しなければならないと定めていることから、出張した2名の職員の復命書の提出が必要と考えるので適正な事務処理を行うよう要望する。

2 環境センター場内安全対策工事について、工事の業者選定を行う際に、指名参加登録のある業者の中から業種の異なる3業者を選定し、見積合わせにより契約を行っていた。

工事発注に際しては、選定業者の業種を明確にし、適正な業者選定を行い、工事を施行するよう要望する。

3 フォークリフト借上契約書を確認したところ、契約日から着手するまでに約5カ月の期間を要しており、確実な契約履行をするためにも早期に着手するよう要望する。

4 工事概要説明板を設置してのコスト表示がなされていないが、住民への建設工事の透明性の確保と住民並びに職員のコストに対する関心、事業に対する必要性等について判断する機会となり得ることから、蓮田市が定めている「蓮田市建設工事におけるコスト表示実施要領」を参考に工事実施に係る費用のコスト表示の導入について、検討するよう要望する。

[凡例]

- 1 各表中の計数は、円単位で算出した数値を四捨五入で表記しているため、合計が合わない場合がある。
- 2 比率「%」は、表示単位未満を四捨五入した。このため、計数が一致しない場合がある。
- 3 表中の「△」印はマイナスを表すものとした。